

地域包括支援センター活動計画（平成29年度）

(6) 光ヶ丘地域包括支援センター

ア 所在地 柏市今谷南町4-20

イ 日常生活圏域データ

	面積 (km ²)	人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)
南部2	5.19	40,447	10,668	26.37	17,869
光ヶ丘	3.33	31,317	7,987	25.50	14,076
酒井根	1.86	9,130	2,681	29.36	3,793

	単身世帯数 (世帯)	高齢者のみの世 帯数(世帯)	要支援者(人)	要介護認定率 (%)	認知症数 (人)
南部2	2,352	4,682	442	14.9	834
光ヶ丘	1,844	3,553	353	15.2	620
酒井根	508	1,129	89	14.6	214

ウ 平成29年度事業計画

平成29年度事業計画	
運営体制について	<p>①年間計画を職員全員で可視化し、進捗管理することで漏れなく事業実施を遂行していく。</p> <p>②安定した人員体制で事業にあたるよう、センター長と職員の面談を密にし、適正な人的マネジメントを行う。職員に対し外部研修の機会を昨期以上に確保し、職員のレベル向上に努める。</p> <p>③独自事業として地域サロン「ぴかっとサロン」を立ち上げ、地域住民の積極的な参画を図る。</p>
総合相談支援業務	<p>①地域ネットワーク会議を活用し、地域住民に加え、医療機関や関係機関との情報交換・課題共有を密に図り支援を必要としている方の早期発見・早期対応を行う。</p> <p>②早期発見・対応体制を整備し、初期相談での適切なアセスメントを行い、本人・家族への問題解決や支援介入を早めることに努める。</p>
権利擁護業務	<p>①支援困難ケースや多問題家族に対して、多面的な支援を行うため、行政機関・医療機関と連携しながら対応を行う。</p> <p>②消費者被害や成年後見制度について地域住民や民生委員に対して、各サロンや民生委員協議会定例会等で啓発活動を行う。</p> <p>③各ふるさと協議会に対して1回ずつ計2回、消費者被害に関する普及啓発を行う。</p>

<p>支援業務 包括的・継続的ケアマネジメント</p>	<p>①地区別研修や事例検討会における計画立案や開催を地域の介護支援専門員と協働して行うことにより、地域包括ケア展開の意志統一や地域課題解決の機会の構築に繋げる。</p> <p>②地域ケア会議、事例検討会では、医療系のテーマを積極的に取り上げ、ICF視点を鑑みた自立支援型プラン作成の指導、徹底を図る。</p> <p>③ケアマネジャーを中心としたデスクカンファレンス開催を通じ、関係者間のさらに強固なネットワーク構築を図る。</p>
<p>認知症総合支援事業</p>	<p>①平成28年度の地域ケア会議で地域の見守りや支援に対する課題が上がった。平成29年度は、意識の高い西山町会をはじめ小規模単位の地縁組織向けに認知症サポーター講座を開催し、支援体制を構築する。</p> <p>②認知症サポーター養成講座に加え、徘徊模擬訓練を酒井根地域で開催し、徘徊者への対応の仕方を学ぶ機会を設け、認知症の方への見守り体制を検討する。</p> <p>③認知症相談窓口の開設について、「ぴかっとサロン」のボランティアやオレンジフレンド等を活用し、周知を図る。</p> <p>④昨期実施した認知症介護者交流会に加え、オレンジカフェを開催し、介護者や本人の精神的負担の軽減に努める。参加者の中で継続支援が必要な方々に対しては継続的な参加を促し、オレンジフレンドの活用等のフォロー体制を構築する。</p>
<p>防ケアマネジメント 指定介護予防支援事業及び介護予</p>	<p>【介護予防プラン作成数 常勤10件以内・非常勤25件】</p> <p>前年度実施したものについては一定の効果を認め継続実施。</p> <p>また、総合事業の本格的運用期であるため地域の介護支援専門員や制度利用者、ご家族に対し運用における理解が促進されるよう勉強会の開催し、必要に応じ周知を図る。</p>
<p>一般介護予防事業</p>	<p>①民生委員等への普及啓発を通して、要介護状態、要支援状態のおそれのある高齢者に光ヶ丘地域包括支援センターのオリジナル体操である「ぴかっとネス」を活用し、介護予防普及啓発活動を行う。</p> <p>②介護予防普及啓発活動4回/年、フレイル深堀チェック2回/年の計6回行うことにより、地域の方々にフレイル予防の意味と必要性を周知する。</p> <p>③地区診断の分析結果を活用し、光ヶ丘地域は口腔機能、酒井根地域は運動機能を中心に関連機関との連携を図りながら地域サロンや民生委員への情報提供を行い、これを通じて住民意識の向上と予防についての普及啓発に努める。</p>

エ. 平成29年度の重点活動および目標について

【認知症ケアの普及啓発ならびに利用促進】

サポーター養成講座に加え、平成28年度地域ケア会議で意識が高まっている酒井根地域を重点地区とした町会、シルバークラブ、婦人会等の比較的小単位の地縁組織、または小・中学生を対象とした「認知症ケアに関する普及啓発」を少なくとも年1回以上行い、地域における認知症ケアの全世代に向けた普及啓発を展開していく。

【地域における介護予防活動の促進】

昨年度の活動で把握した地域ニーズ、また地区診断より導かれた地域の課題等を踏まえ、各サロン活動において地域住民に必要な情報や活動についての普及啓発を展開する。また、当センターの立地町会内において「ぴかっとサロン」を立ち上げ、5月より月1回サロンの開催支援を行い、多職種の協力も得た上でオリジナル体操である「ぴかっとネス」をはじめ必要な介護予防の情報発信を図っていく。

【平成30年度介護保険法改正に向けた啓発活動】

法改正や行政の動向に関する情報を的確に収集し、ケアマネジャー向けの地区別研修や、地域住民向けのサロン活動等を通じ発信する。また、事例検討会や地域ネットワーク会議等は多職種参加型の開催を目指し、地域包括ケアのさらなる深化を図る。

地域包括支援センター活動計画（平成29年度）

(7) 柏南部地域包括支援センター

ア 所在地 千葉県柏市南増尾58-3 リフレッシュプラザ柏内

イ 日常生活圏域データ

	面積 (km ²)	人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
南部1	6.91	41,443	11,704	28.24	17,286
南部	3.77	26,669	7,425	27.84	10,941
藤心	3.14	14,774	4,279	28.96	6,345

	単身世帯数 (世帯)	高齢者のみの世帯数 (世帯)	要支援者 (人)	要介護認定率 (%)	認知症数 (人)
南部1	2,286	4,815	417	13.7	839
南部	1,378	2,986	257	12.7	478
藤心	908	1,829	160	15.3	361

ウ 平成29年度事業計画

平成29年度事業計画	
運営体制について	<p>事業計画は日程や内容等含めて詳細に計画し職員に配布する。「職員全員で計画を実行していく」ということを意識したい。また、所内会議において毎月進捗を確認し、必要に応じて修正を行っていく。</p> <p>介護保険認定申請等、流れの決まっている業務についてはマニュアルを整備し、新しい職員が配置された際も対応が統一されるように工夫をしていく。</p>
総合相談支援業務	<p>サロンや老人会等、地域住民の集まりに積極的に参加し、センター業務の周知を行っていく。センター独自のチラシを作成し、周知に活用する。</p> <p>周知活動やその他業務を通して、新しいネットワークを構築し、円滑な連携が取れるように相互理解を図っていく。</p> <p>地域包括ネットワーク会議は7月と1月を予定している。7月は高齢者支援課との共催となっているため、連携を取りながら進めていきたい。</p> <p>総合相談支援にて最新の情報をすぐに提供できるよう、地域資源マップの刷新を行う。</p>
権利擁護業務	<p>権利擁護講座は7・2月に予定している。内容は成年後見制度と消費者被害防止を予定しており、それぞれ講師を招いて実施する方向で調整中である。</p>

<p>ケアマネジメント支援業務</p> <p>包括的・継続的</p>	<p>地域包括ケア地区別研修は5・10月に予定している。テーマや講師については、地域の主任介護支援専門員との協議しながら決定する。</p> <p>事例検討会は9月頃を予定している。</p> <p>地域ケア会議は6・8・12・2月の計4回を予定している。</p> <p>独自事業として、居宅介護支援事業所への訪問を行い、支援困難等の困っている事例に対して積極的に連携を取っていく。</p>
<p>認知症総合支援事業</p>	<p>認知症サポーター養成公開講座は4月の開催を予定している。</p> <p>認知症サポーター養成講座が地域の隅々まで浸透するよう地域での啓発活動を行い、今まで開催のなかった地域での開催に繋げていく。また、認知症サポーターのフォローとして、認知症サポーターが在籍しているサロン等にてスキルアップを目的としたテーマで講座を行っていく。</p> <p>小学校等での認知症啓発では、前年度同様オレンジフレンズと協働し、オレンジフレンズの活動の場を広げていく。</p> <p>オレンジフレンズ交流会は7月頃を予定している。サロンで行った認知症サポーター養成講座から登録に結び付いたオレンジフレンズが多いため、オレンジフレンズの所属する町会単位での交流会を実施していきたい。</p> <p>認知症徘徊模擬訓練は10月開催予定とし、町会がオレンジフレンズと協働しながら主体的に実施できるよう支援を行う。</p> <p>認知症介護者交流会は6・11月に開催を予定している。その前月に開催される地域包括ケア地区別研修で介護支援専門員にも周知し、新規の参加者を積極的に募っていく。</p> <p>毎月第2火曜日・第4水曜日の午後を認知症相談窓口として、認知症地域支援推進員を配置し、専門スキルと連携ルートを駆使して相談対応していく。</p>
<p>防ケアマネジメント</p> <p>指定介護予防支援事業及び介護予</p>	<p>窓口でのプランチェックは丁寧に行い、必要時自立支援に向け助言する。センターの管轄地域外の居宅介護支援事業所の介護支援専門員から相談があっても地域の情報をすぐに提供できるように、地域資源マップや事業所情報等の充実を図る。</p>

<p>一般介護予防事業</p>	<p>介護予防教室は地域別に会場を予約し、3回ずつ実施する。南部地域は前年度に引き続きリフレッシュプラザ柏にて11～12月に実施する。藤心地域は既に近隣センターや柏楽園ふるさと会館でフレイル深堀チェックを実施していることから、藤心第2ふるさと会館にて5～7月に実施し、地域内で満遍なくフレイル予防の取り組みができるようにしていく。内容はリフレッシュプラザ柏の介護予防運動指導員等と協働し、フレイル予防の取り組みにおける連携の輪を広げていく。</p> <p>地域介護予防活動支援は今年度もサロンや自主グループの支援を中心に充実させていく。</p>
-----------------	--

エ 平成29年度の重点活動および目標について

<p>1 地域づくり支援</p>	<p>サロンや自主グループ等の地域活動が活発な地域であるため、介護予防地域活動の支援に力を入れる。特に、新しく立ち上がった自主グループが継続できるよう、また、介護予防の視点を踏まえた上で効果的な内容での活動ができるよう、丁寧に関わっていく。</p>
<p>2 ネットワークの強化</p>	<p>支援困難事例に対して、関係機関と連携を取りながら支援を進めていくことができるよう、事例の傾向や課題を蓄積するために、地域ケア個別会議の開催を行っていく。また、既存のネットワークをより強いものにし、かつ、新しいネットワークを広げていくことができるよう、地域包括ネットワーク会議の充実を図っていききたい。</p>

地域包括支援センター活動計画（平成29年度）

(8) 柏南部第2地域包括支援センター

ア 所在地 柏市増尾台 3-8-51 もりこビル 102

イ 日常生活圏域データ

	面積 (km ²)	人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)
増尾(南部1)	4.39	24,235	7,096	29.28	10,225

	単身世帯数 (世帯)	高齢者のみの世 帯数(世帯)	要支援者(人)	要介護認定率 (%)	認知症数 (人)
増尾(南部1)	1,460	3,069	290	14.3	528

ウ 平成29年度事業計画

平成29年度事業計画	
運営体制について	<p>朝会や包括ミーティングを継続し、職員間の情報共有を密にして、迅速に適切な相談対応ができるよう引き続き努める。</p> <p>法人内外の研修に積極的に参加し、またそれをセンター内で伝達していくことで、3職種のチームアプローチをより強固なものにしていけるよう努めていく。</p>
総合相談支援業務	<p>地域行事などにも参加できるようにし、より強いネットワーク形成を目指す。</p> <p>地域ネットワーク会議を年2回実施し、引き続き地域住民と顔の見える関係づくりをしていくことで、相談しやすいセンターを作る。また、内1回は地域ケア会議で出た課題を共有する機会として、ネットワーク会議を開催する。</p> <p>包括たよりを年3回発行し、センターの周知に努める。</p> <p>社会資源の情報を住民にわかりやすく情報提供できるようにするため、29年度の上半期に地域の社会資源の情報を収集し、マップを完成させる。29年度の下半期には配布をし、随時見直しをかけていく。</p>
権利擁護業務	<p>高齢者虐待ケースにおいて、今年度も引き続き、的確かつ迅速な対応を行い、問題解決できるよう努めていく。今年度課題であった関係書類の回覧の遅れについては、今後期日を設定した上で回覧を行い、滞留しないよう迅速な対応に努めていく。</p> <p>地域との連携をさらに深め、地域で発生している消費者被害等の情報をいち早くキャッチし、被害の拡散を防ぎ権利擁護に努める。</p> <p>地域住民の「成年後見制度」への関心も高く、地域包括支援センターへ相談が寄せられるが、その理解については誤ったものも多く、29年度においては正しい制度理解に向けての講座を行い、制度普及への取り組みを進める。</p> <p>その他、権利擁護講座については、消費者被害の予防に関するものやエンディングノートなどを取り上げたものを行なう。</p>

ト支援業務 包括的・継続的ケアマネジメント	<p>地域の主任介護支援専門員をコアメンバーとして地域包括ケア地区別研修会を年2回、ケアマネ交流会も合わせた事例検討会を年3回実施し地域の介護支援専門員との連携体制を強化する。研修会・検討会を通して支援困難ケースへの対応力や自立支援に向けたケアプラン作成の実践力向上に努める。</p> <p>また地域ケア個別会議を年4回実施し、多職種によるネットワークを作り地域包括ケアシステムの構築と社会資源の開発等に取り組む。</p>
認知症総合支援事業	<p>月2回の認知症相談窓口において適切な機関に繋ぎ、認知症初期集中支援チームへの依頼を積極的に行い、継続的に関わりながら支援していく。</p> <p>今年度はオープン講座のほかに認知症サポーター養成講座を4回開催し60名以上のサポーター養成を行う。引き続き登録メイトと協力し認知症サポーター養成講座を行っていく。</p> <p>ご家族から自主グループが生まれるよう、家族支援として家族会を年1~2回、またカフェの立ち上げではサロン等と共催を検討し、地域住民が訪れやすいように配慮していく。ご家族から自主グループが立ち上がるようオレンジフレンズの方とご家族の結び付けや開催方法等を一緒に検討していく。</p>
介護予防ケアマネジメント 指定介護予防支援事業	<p>介護支援専門員とともに自立支援に向けたプラン作成をしていく。年3回の事例検討会開催の中で自立支援についての視点、アセスメントについての意見交換を行い、ケアマネジメントプロセスを学ぶ機会を設ける。</p>
一般介護予防事業	<p>年間6回の介護予防普及啓発事業を開催し、その後のフォローアップ講座を行っていく。</p> <p>参加者が継続して活動できるようロコモフィットやウォーキング等の自主グループへの活動を紹介し、促して行く。</p> <p>また、周知に関してもチラシ作成だけでなく民生委員やふるさと協議会と協力していく。地区社協と連携をとりながら28年度行えなかった新柏や加賀、名戸ヶ谷地域への出前講座やつちのこサロン等の多世代交流への講座の共催を検討していく。サロン支援を継続し、講話や出前講座を行う。</p>

エ 平成29年度の重点活動および目標について

認知症カフェの立ち上げ

⇒オレンジフレンズと地域サロンの主催者を包括が橋渡し役となって結びつけ、認知症カフェを協働して1ヶ所立ち上げる。28年度認知症介護者交流会に参加した方々にも声かけを行い、月1回定期開催をする。

認知症カフェを通して、認知症の人が通える場所作りや地域住民が認知症に対する理解を深めることができるよう対応していく。

地域で活動する介護支援専門員の連携を一層強化する

⇒各居宅介護支援事業所から事例を提出してもらい、年3回の事例検討会を開催する。介護支援専門員と課題を話し合うことにより自立支援につながるプランや支援困難ケースの対応などスキルの向上をめざす。また、介護支援専門員同士交流を図り、顔の見える関係作りを確立していく。

消費者被害の拡散防止

⇒地域住民、消費生活センター等と連携し、情報収集・注意喚起を行い、包括主催の普及啓発活動を通して、消費者被害の拡散防止に努めていく。

地域包括支援センター活動計画（平成29年度）

(9) 沼南地域包括支援センター

ア 所在地 柏市風早1-2-2 沼南社会福祉センター内

イ 日常生活圏域データ

	面積 (km ²)	人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
沼南	41.99	52,732	13,220	25.07	21,963
手賀	22.28	3,841	1,260	32.80	1,535
風早北部	8.99	26,143	6,882	26.32	11,028
風早南部	10.72	22,748	5,078	22.32	9,400

	単身世帯数 (世帯)	高齢者のみの世帯数 (世帯)	要支援者 (人)	要介護認定率 (%)	認知症数 (人)
沼南	2,615	5,281	356	13.8	1,099
手賀	247	422	34	19.2	167
風早北部	1,334	2,809	181	13.0	530
風早南部	1,034	2,050	141	13.6	402

ウ 平成29年度事業計画

平成29年度事業計画	
運営体制について	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行うスタッフ会議を活用して、職種間チームアプローチの継続、新規職員の資質向上等を行う。 包括内だけでなく、法人内における研修（まちづくり等）にも積極的に参加する。
総合相談支援業務	<ul style="list-style-type: none"> 地区民協や地区社協、サロン等へ出向き、包括のPRを行う。（年20回） 包括のチラシを全町会、医療機関に配布する。 地域のイベントに参加し、あらゆる年代に向けてPRする。（年5回）
権利擁護業務	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体と協働して、成年後見、消費者被害等の権利擁護に関する講座を年2回以上実施する。 サロン、老人会、コミカフェ等へ出向き、権利擁護について年20回以上普及啓発する。

<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別研修（6月・12月）に向けて圏域内のケアマネ協議会役員や主任ケアマネと事前に話し合いを行い、地区別研修の目的を確認し、ケアマネのニーズにあった企画とする事でケアマネジメントの実践に生かす。 ・ケアマネが相談援助職として実践力をつける事を目的に、事例検討会を開催する。 ・地域ケア会議の開催を行い、ケアマネと共にケースの検討を通し、地域構築を目指す。 ・週1回の包括スタッフ会議の中で支援困難事例等の情報共有を図り、ケアマネ支援の体制を整える。 ・ケアマネが利用者支援において地域住民とも交流が図れるよう、地域福祉活動者との交流会を開催し、良好な関係を構築する。
<p>認知症総合支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター講座の実施を区や町会、学校、商店などに働きかけ、包括以外のキャラバンメイトの協力も得て実施する。（目標20回） ・オレンジフレンズの交流会を実施する。（1回）スキルアップを行い、今後の活動について検討する。 ・ネットワーク会議やサポーター講座などと連動して徘徊模擬訓練を実施する。（1回） ・介護者交流会の運営支援を行う（月1回） ・認知症相談日を2回/月設ける。 ・認知症カフェを地域のコミュニティーカフェ等を利用して行う。（3エリアで各3回/年）。沼南社会福祉センターの認知症相談日と併設して1回/月実施する。 ・かしわ認知症オレンジパス、もの忘れ対応ガイドブック、オレンジ連携シートを利用し、個別の支援を充実させる。
<p>指定介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先のケアマネジャーに対して地域の社会資源の情報提供を行い、インフォーマルサービスの利用に結びつくよう実施し、自立を支援する。 ・自立支援の視点でマネジメントの実践が行われるよう、一部委託事業所やセンター内において学びの機会を持つ。 ・一部委託事業所ケアマネとは、介護予防プラン確認時に利用者の自立の支援を中心にコミュニケーションを図り、信頼関係を得る事で介護予防プランの一部委託を中立公平に行いたい。

一般介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防深堀チェックを高柳近隣センター、沼南近隣センター、手賀近隣センターで計3回実施。チェック後の講座（運動、口腔、栄養、コグニサイズ等）をそれぞれ2回ずつ行う。 ・地域のサロンや老人会などに出向き、出前講座やミニ講座を実施する。 ・様々な人が来店するコミュニティーカフェへの介護予防講座の提案をしていく。 ・介護予防の必要性を、前期高齢者へ発信できるような講座やイベントを検討し、健康寿命の啓発を行っていく。さらに、ボランティア活動や、世代間交流へとつながるような人材の発掘を行っていく。 ・柏市で実施した地区診断の結果をもとに、ターゲットをしぼった介護予防事業の提案を行っていく。
----------	--

エ 平成29年度の重点活動および目標について

<p>目標「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェを各コミュニティーエリアで実施 ・サポーター講座の積極的実施による普及啓発 ・地域住民と協働した徘徊模擬訓練の実施
<p>目標「地域高齢者に対する虚弱予防活動強化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロン、老人会等へ積極的に出向き講座等を開催するなどの普及啓発 ・地区診断を活用した事業の実施
<p>目標「1人でも多くの住民に対して地域包括支援センターの周知」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活かし町会事業、町会回覧を使用してセンター、センター事業の周知 ・手賀近隣センターを使用して、相談所の開設